

那須塩原市議会 「那須塩原クラブ」 行政視察報告書



視察期間：令和５年２月２２日（水）

I 視察日：２月２２日（水）
視察地：東京都世田谷区 砧公園
内 容：「インクルーシブ公園」について

視察地：東京都千代田区 文部科学省
内 容：「文部科学省との意見交換会」

参加議員：	齊藤誠之	相馬 剛	森本彰伸
	益子丈弘	中村芳隆	林 美幸
	佐藤一則		

テーマ：「インクルーシブ公園」及び「文部
科学省との意見交換会」
視察地：世田谷区「砦公園」みんなの広場
文部科学省
視察日：令和5年2月22日
報告者：齊藤誠之

東京都世田谷区の砦公園内は、「家族ぐるみで楽しめる公園」をテーマに造成され、開園は1957年。戦時中は防空緑地、戦後は都営のゴルフ場として開放されていたそうです。自然の地形をいかした芝生が広がるファミリーパークと、運動場や遊具などが集まる区域に別れており、敷地内には世田谷美術館もあります。



そんな公園内に2020年3月にオープンをした全国的にも数少ないユニバーサルデザインを取り入れた遊び場「みんなの広場」を視察しました。

これは、障害のあるお子さまをもつ、東京都議会議員の提案から、実現された障害のある子もない子と一緒に遊べる公園です。

砦公園内の一角にあり、周りはフェンスで囲われており、門が付いているので安全性も確保され、フェンス内のフロアは柔らかい素材が使用されており、転倒しても怪我しない工夫を、また、滑り台のような遊具については階段が苦手な子も、長く緩やかなスロープが設置されています。

視察時にはちょうど保育園の園児たちが遊びにきて、様々な遊具に分散して遊んでおりました。



本市も那須塩原市公園施設長寿命化計画を策定し、公園の管理等を行っておりますが、その更新の時期に、今回のようなインクルーシブ遊具の設置も取り入れていくとの考えが示されていることから、同じ空間で障害のある、ないに関わらず一緒に遊べる場所の整備が早まることを、期待しているところであります。



次に、文部科学省へ訪問し、令和5年4月1日に新たに発足される、「こども家庭庁」と文部科学省が連携する（特別支援教育、いじめ、不登校など）分野が多岐にわたることから、今後の取り組みについて、省庁職員に以下のテーマの説明を受けました。テーマは、

①こども家庭庁と教育行政の連携・役割分担について

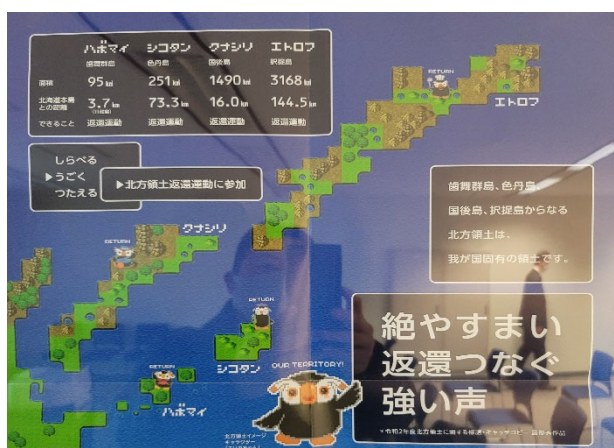
②インクルーシブ（特別支援）教育について

③教員の働き方改革についての3つです。

まず、関係する担当職員から説明を受けた後に、会派のメンバーから、質疑や質問があり、対応した省庁職員の方も地方の現状を知り得る機会となったため、とても有意義な時間となりました。



その後は、北方領土・竹島及び尖閣諸島が我が国、国有の領土であることを示す歴史的資料や人々の営みを展示した、国の施設を拝観しました。



これまでの展示館での課題を踏まえ、基本的な位置づけは、正確な事実に基づいて、論理的に展開し、普遍的な主張に基づいたストーリー性のある情報発信を強化したものでなっており、専門家による解説や講演会など施設の整備も含めその内容の充実が図られていました。



いずれの視察内容も今後の活動に参考になったものばかりなので、本市の取り組み等に活かしていきたいと考えます。